

記念講演 関連企画

拝啓 あさのあつこ様 あさのあつこさんへのメッセージ

記念講演にあさのあつこさんをお招きするので、メッセージを募集することになった。埼玉県立図書館や埼玉県高等学校図書館研究会（高図研）がウェブサイトなどで呼びかけを行った。

特に高校図書館で、司書がチラシと応募用紙を配って呼びかけた。はじめは少なかったが、最終的に 96 件のメッセージ（手渡し等 45 件、郵送 36 件、FAX12 件、メール等 3 件）が集まった。

掲示場所は、展示会場（プチホール）の入口入ってすぐの一番目立つところで、縦長のパネルを三角柱にして貼り付けた。全部貼りきれなくて、壁面にもコーナーを作った。三角柱のそばには、POPとともにあさのさんの作品を展示し、著作の一覧表も配布した。

それから、ロビーに面したガラスケースの中に、著作の全点展示も行った。これは、壁面に黄色のパネルを貼り、テーブルクロスを広げた彫塑台と展示架に本を並べた手のこんだもので、とても見映えがするものになった。

当日のメッセージコーナーは、いつも人だかりがしていて、多くの人が熱心に書かれたものを見ていた。中には写真を撮る人もいた。

メッセージを送ってくれたのは、高校生が 64 枚と一番多かったが、中学生 4 枚、小学生 26 枚、大学生 1 枚、高校教諭 1 枚と多様な人が書いてくれた。文章の感想だけでなく、イラストも多く、作品のイメージをいろいろな形で表現してくれていた。これを読むと、若い人たちがどんなにあさのさんの作品を支持しているかよくわかる。

当日、あさのさん本人にも展示やメッセージを見ていただいた。ファンの思いがつまっ

たメッセージは一冊にまとめて、後日あさのさんにお送りした。



入口正面のメッセージ掲示と作品展示。
本にはPOPが付き、著作一覧表も配布。



マスキングテープでA5サイズのメッセージを貼り付けた。



パネルの三角柱は3面とも手書きのメッセージでいっぱい。

拝啓 あさのあつこ様



全部貼りきれず壁面にも掲示場所を作った。
熱心に一枚ずつ読む来場者。



カラフルなイラスト入りメッセージ。クリアファイルにまとめて、あさのさんに送った。



ロビーのガラスケースに全著作を展示した。
多くの人が見入っていた。



「ネズミ」の等身大イラストの写真を撮る中学生。『NO. 6』はアニメ化で大人気。

<あさのあつこ先生へのメッセージから>

あさのあつこさん、こんにちは。

私は「NO. 6」を友達にすすめられて読みました。理想都市NO. 6で育った紫苑と理想都市NO. 6に家族を殺されたネズミ。この二人が出会い、お互いに認め合い、助け合いながら困難に立ち向かい、成長していく話は、とてもたのしかったです。

また、NO. 6を支配したいがために、ネズミの故郷を襲った市長や、白衣の男を見て、人は自分のことだけを考えはじめてしまうと、ここまでひどいことをしはじめてしまうんだなと思い、紫苑やネズミその周りの人々を見てみると、誰かを想い、守りたいと思うことで、人はこんなにも強く、優しくなれるのだなと思い、感動しました。

NO. 6がその後どのような形になったのか、ネズミと紫苑は「再会を必ず」の言葉通り再会することができたのか、続きが読みたいと感じています。もしよかったら、その後の話を書いていただけると嬉しいです。

これからも、あさのあつこさんのお話を楽しみにしています。 <H高校1年S. A>